



栗原市立富野小学校閉校記念誌



ありがとう
～みらいにつなぐ栗原市閉校記念誌～

2015.03

❁ あいさつ

富野小学校 閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市長 佐藤 勇	1
富野小学校の閉校に寄せて	栗原市教育委員会教育長 亀井 芳光	2
富野小学校の閉校 そして新たな学校へ	栗原市立富野小学校校長 氏家 勝昭	3
閉校記念誌の発刊に寄せて	栗原市立富野小学校PTA会長 佐藤 忠美	4

❁ 栗原市立富野小学校 校歌

5

❁ 児童数の推移・校旗・校章の由来

6

❁ 富野小学校のあゆみ

～明治・大正・昭和	7
～昭和	8
～平成	9～10

❁ 学校の概要

学区の概要	11
校舎のようす	12

❁ 歴代校長

13

❁ 歴代PTA会長

14

❁ 寄稿文

～歴代校長～	地域と共に歩む富野小学校	第41代校長 及川 英之	15
	地域に根差した歴史と伝統を	第42代校長 佐々布隆一	15
	富野小学校よ！永遠に！！	第43代校長 福原 寿郎	16
～長年お世話になった方から～			
	富野小学校と鶏舞 (昭和39年度卒) 城生野神楽保存会会長 佐藤 安美		17
	ひいらぎ剣道スポーツ少年団は永遠に (昭和48年度卒) ひいらぎ剣道スポーツ少年団監督 千葉 嘉彦		18
	歴史と伝統の灯消える (昭和23年度卒) 第13代PTA会長 高橋 清		19
	富小閉校に思う 第16代PTA会長 高橋 堯		19
	未来へ！ 第20代PTA会長 佐藤 正行		20
	いつも地域の拠り所となって 第24代PTA会長 佐藤 藤夫		20
	富野小学校の思い出 第31代PTA会長 千葉 賢		21
～地域の方々から～			
花の木地区	良き時代に学んで (昭和38年度卒) 千葉 文代		22
	富小の良さを次代へつなげよう 齋藤 義憲		22
	鶏舞に思いを込めて (昭和59年度～昭和63年度勤務) 千葉 久子		23
	感謝の気持ちを込めて 小野寺 (高橋) 真美		23
大堀地区	学校緑化事業の思い出 白鳥 孝義		24
	私の実家は富野小学校 菅原 京子		25
	富野小学校の思い出 千葉 由佳		25
黒瀬地区	小校のハンディを克服した剣道と鶏舞 高橋 則子		26
	ひいらぎに育まれて (昭和61年度卒) 鈴木 威郎		26
沖富地区	ふるさとまつり 白鳥 久子		27
	富野小学校での思い出 (平成19年度卒) 千葉頭太郎		27
根岸地区	富小ありがとう (昭和34年度卒) 菅原 昭一		28
	富野小学校の思い出 (昭和54年度卒) 菅原 京二		28

❁ 寄せ書き ～在校生から～

1・2年 29

3年 30

5・6年 31～32

❁ 思い出のアルバム

33～39

❁ あとがき

栗原市立富野小学校 教頭 川田 聡 40

～教職員からのメッセージ～

教職員一同 40

富野小学校 閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市長 佐藤 勇

大自然の造形、栗駒山の絶景を望み、先人が創りし栄華の足跡、伊治城に思いを馳せる。この大自然と歴史のある富野の地で、子どもたちに多くの学びを与えてきました富野小学校が閉校するにあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

明治10年に栗原公立小学校黒瀬分校として創立され、開校以来138年にわたる長い歴史をもつ富野小学校は、地域住民の方々の学校教育に対する御理解、御協力のもと、地域の温かな目に見守られ、健全な児童育成の伝統を築き上げてこられました。

その長い歴史の中で、学校及びPTA、また児童個人が、幅広い分野において多くの優良受賞をされておりますことは、歴代の校長先生をはじめ、教職員、関係者の皆様の並々ならぬ御尽力の賜であり、深く敬意と感謝の意を表する次第であります。

さて、富野小学校では、「豊かな心で、自ら学び、心身共に健康な児童の育成」を教育目標に、大自然や地域の歴史を活用しての学習活動を積極的に行うことで、郷土を知り、地域を愛する教育に力を入れ、思いやりや感謝、尊敬する心を育まれてきました。教科指導はもとより、総合的な学習の時間なども最大限に活用し、確かな学力向上のため少人数の良さを活かし、児童一人ひとりに教師の温かい目と優しい手が行き届いたきめ細かな学習活動を展開するなど、創意工夫をされてこられました。また、縦割り活動による学年を越えた交流や、地域との交流活動など、幅広い世代と触れ合うことが、児童の豊かな人格形成に寄与されたことと思います。

特に、「鶏舞」の活動につきましては、城生野神楽保存会から指導を受けるとともに交流も図られ、運動会や学芸会をはじめ、地域行事など様々な機会に発表されておりますことは、伝統の継承と、地域の連体感の醸成としても大変意義の深い活動であります。自治会活動も活発な地域であり、保護者のみならず、地域全体で次代を担う子どもたちを見守り、助ける姿は、他の模範となるものであります。

このように地域に愛され、歴史と伝統ある富野小学校が、今日の社会的な問題である少子・高齢化の傾向による児童減少などの背景から、本年3月31日をもって校史を閉じることとなりましたことは、非常に残念でなりません。これまで富野小学校を巣立った皆様にとって、母校の閉校は何事にも耐え難い寂しさであり、また、地域の皆様の愛惜の念も深いものと拝察いたします。しかし、ここで歴史が終わるのではなく、これからは次代へ富野の歴史と伝統が受け継がれていくよう願うものであります。

今後、「学府くりはら」の実現に向けて、教師と子どもたちがしっかりと向き合い、学校生活に満足感や達成感がこれまで以上に得られる教育環境づくりを目指すとともに、富野小学校が育んだ歴史が長く受け継がれ、新しい地域の歴史が築かれていくことを心より御祈念申し上げ、閉校記念誌発刊のあいさつといたします。

平成26年度 築館中学校区志教育小中高交流発表会

志交流発表会（平成26年度）

富野小学校の閉校に寄せて

栗原市教育委員会

教育長 亀井 芳光

平成27年4月、富野小学校は築館地区小学校再編に伴い、築館小学校へ先行再編し、新たなスタートをきることになりました。再編にあたり、ご理解とご協力をいただきました富野地区の皆様にご心より感謝申し上げます。

さて、富野小学校の歩みを振り返りますと、明治10年に黒瀬に栗原公立小学校黒瀬分校として創立されたのが第一歩とされております。以降学校制度の改正等により幾度か改称を行い、昭和22年に富野小学校と改称され、平成5年に現在の場所に校舎が建て替えられました。138年間の歴史の中、多くの児童を卒業させてきており、地域の皆様と手を携え、子どもたちの教育に熱心に取り組んでまいりました。

富野小学校は、決して大きな学校ではありませんが、さまざまな教育活動を行っており、特に子どもたちは、縦割り活動として1年生から6年生までの交流を通じた活動により、高学年は低学年を見守り、低学年は高学年を慕うことで、思いやりの心や連帯感を育てる教育ができたことと思います。特に、郷土神楽「鶏舞」の継承活動は、全校児童が参加して行っており、いろいろな大会などにおいて披露しております。その中で仲間とともに協力し達成した喜びなどが、生涯の財産になっていることと思います。

また、富野小学校は、PTA活動が盛んなことでも名をはせており、保護者の皆様がお忙しい中でも積極的に学校に関わっていただき、「ひいらぎ祭」や「親子ふれあい教室」など、学校運営上、大変心強く、有り難いことでした。

これまで慣れ親しんできた学校と別れることは、子どもたちをはじめ、地域の皆様にとりましては、計り知れない寂しさがあるものと思います。しかしながら、少子化による児童生徒数の著しい減少や急激に変化する時代に生きる子どもたちの将来を考えると、学校再編は避けて通ることはできません。

再編後は、子どもたちも地区の皆様もこれまで脈々と受け継がれてきた富野小学校の輝かしい歴史と伝統を受け継ぎ、新しい出会いを喜び、共に学び、励ましあいながら、新しい伝統を築き上げ、「地域とともに歩む 新しい学校」の創造に向けて取り組んでいってくれることを信じてやみません。その実現のためには、地域・家庭・学校・教育委員会をはじめ関係機関との連携が大切であります。新たに仲間となる築館小学校の子どもたち、保護者、地域の皆様との交流を深め、「再編してよかった」と語り継がれることを願っております。

結びに、閉校にあたり、これまで永きにわたり富野小学校を温かく見守り、支えていただきました地域の皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。閉校記念誌に寄せる言葉といたします。



志交流発表会(平成26年度)



富野小学校の閉校 そして新たな学校へ

栗原市立富野小学校

校長 氏家 勝昭

「山は栗駒 和やかに 迫の川に 影映す 歴史を誇る 富野なる 明るき窓の 小学校 昇る朝日に 希望あり 楽しく学び」と校歌にうたわれ、古代には東北経営の拠点である伊治城が築かれ、それ以来連綿として人が住み続けた地域である富野小学校は138年の歴史に幕を閉じることになりました。

明治10年富野村黒瀬に仮校舎（栗原公立小学校黒瀬分校）を設けました。明治13年黒瀬下屋敷に校舎（富野公立小学校）を新築しました。多くの卒業生が県内外において、さまざまな分野で活躍していると聞いております。このことは、保護者の方々、歴代校長先生始め教職員の方々、地域の方々の教育に対する温かい愛情、御支援、御協力の賜物であり、深く感謝を申し上げる次第です。

昭和45年度、掲げられた教育目標は、「憲法並びに教育諸法規にもとづき本県教育重要施策及び本町学校教育重要施策の精神をくみとり、地域社会、学校、児童の実態をふまえながら、国家や社会に役立つ教養豊かな日本人を育成するため次の具体的目標に迫る。

- 健康で明るく、希望に向かって努力する。
- 自分の行いに責任をもち、他人に迷惑をかけない。
- 筋道を立ててよく考え、粘り強く励む。」 でした。

その後、平成12年度に教育目標は、「心身ともに健康で、自他の人格を尊重し、自主性に富み実践力のある児童を育成する。」に改定されました。平成26年度の教育目標は『豊かな心で、自ら学び、心身共に健康な児童の育成』とし、目指す児童像は

<○ やさしく ○ かしこく ○ たくましく> としております。

「校章」の金色の文字は富野の「富」を、銀色の文字は小学校の「小」を図案化したものです。中央上段には昔をしのぶ富野の由緒ある伊治城が歴然とそびえています。

昭和23年4月1日「ひいらぎ」が校木に制定されました。

昭和35年12月には校歌が制定されました。（菅原のぶ・二階堂むら子両氏 寄贈）

城生野神楽「鶏舞」が伝承されていることは、この地域は芸能を愛するゆとりがあったことを示しております。現在、成果を学芸会や運動会等で発表しています。

地域の次代を担う子どもの成長を図る場として、保護者や地域の人々の学校に対する期待と関心は高く、保護者はもちろんのこと、交通安全指導隊その他、地域の多くの人々の積極的支援と協力をいただいております。

輝かしい歴史と伝統のある学校が閉校になることは、校長として、寂しく思いますが、少子化の影響は免れることはできません。

今後、校名が変わっても、これまで築いてきた歴史や伝統が確実に築館小学校に受け継がれ、融和を図りながら、地域に親しまれる学校となるよう祈っております。

結びに、閉校にあたり御尽力いただきました栗原市教育委員会及び築館・富野地区小学校再編準備委員会の皆様、関係各位に御礼と感謝を申し上げ、また、築館小学校へも引き続き温かい、御支援、御協力をお願い申し上げます。



閉校記念誌の発刊に寄せて

栗原市立富野小学校

PTA会長 佐藤 忠美

少子化など、時代の大きな流れの中にあつて、私どもの母校「富野小学校」は平成27年3月31日を以て、138年という長い歴史の幕を閉じることになりました。

現在の出土文化財管理センター敷地にあつた当時の校舎が、平成5年に新校舎への移転に伴って取り壊される…と聞いた時は、同級生らが集合し、記念写真を撮るなどして、数々の思い出の舞台となつた校舎の取り壊しを惜しみながら、旧交を温めました。

その後、富野小学校は、現在の場所で新しい歴史を刻み始めるわけですが、母校がなくなってしまう事など、誰もが予想だにしていなかったことでしょう。

時代の流れは速く、「栗原市立学校再編計画」が示されたのは、新校舎の竣工から15年後、私の長女が富野小学校の第2学年に在籍していた、平成20年の事でした。

その後、市内の多くの地域で小学校の再編に向けた動きが進むにつれて、築館地区内においても、「時代のすう勢」に対する意識が高まっていったことを、児童数の推移などからもうかがい知ることができました。

富野小学校には、特色のある活動や良き伝統が幾つもあります。城生野神楽「鶏舞」は昭和55年頃にも学芸会に取り入れられておりましたし、「親子ふれあい教室」は、昭和56年度から始めた「スキー教室」が、「ひいらぎ祭」は昭和54年頃から実施している「ふるさと遊び大会」が名前や形を変えながら続けられてきたものです。こうした取組が、子どもたちの世代にまで受け継がれてきた…という事実に驚きと感心を覚えました。

これもひとえに、その活動を支えて下さった学校関係者を始め、保護者や地域の皆様のたゆまぬご努力のたまものであると思います。良き伝統がこれからも受け継がれていくことを望んでいます。

この度の「閉校記念誌」の発刊にあたりましては、諸先輩方が残していただきました「120周年記念誌」の中から数々の貴重な思い出や記録などを参考にさせていただいております。

また、本来であれば、富野小学校の長い歴史の全てを盛り込むべきところではありますが、諸事情から、約40ページの中に凝縮しなければならないという限られた条件のもと、可能な限り多く・幅広い、そして様々な年代層・お立場・関わりにおける、それぞれの視点からの「思い出」などをお寄せいただき、同様に可能な限りたくさんの写真によって、“何度も見返したくなる記念誌”が作れたらいいなと考え、皆様からのご協力をいただきながら、PTAの役員を中心とした実行委員により一生懸命取り組みました。

地域の皆様、卒業生、先生方などお世話になった皆様にとって、富野小学校での「思い出」を思い起こさせる何かきっかけになるものとして、ご覧いただければ幸いです。



栗原市立富野小学校 校歌

白鳥 省吾 作詞
森 義八郎 作曲

♩ = 114



やまは くりこま なごやかに
はさまの かわに かげうつす れき
しを ほこーる ーと
みの なる
あかるき まどの しょうがっ こう

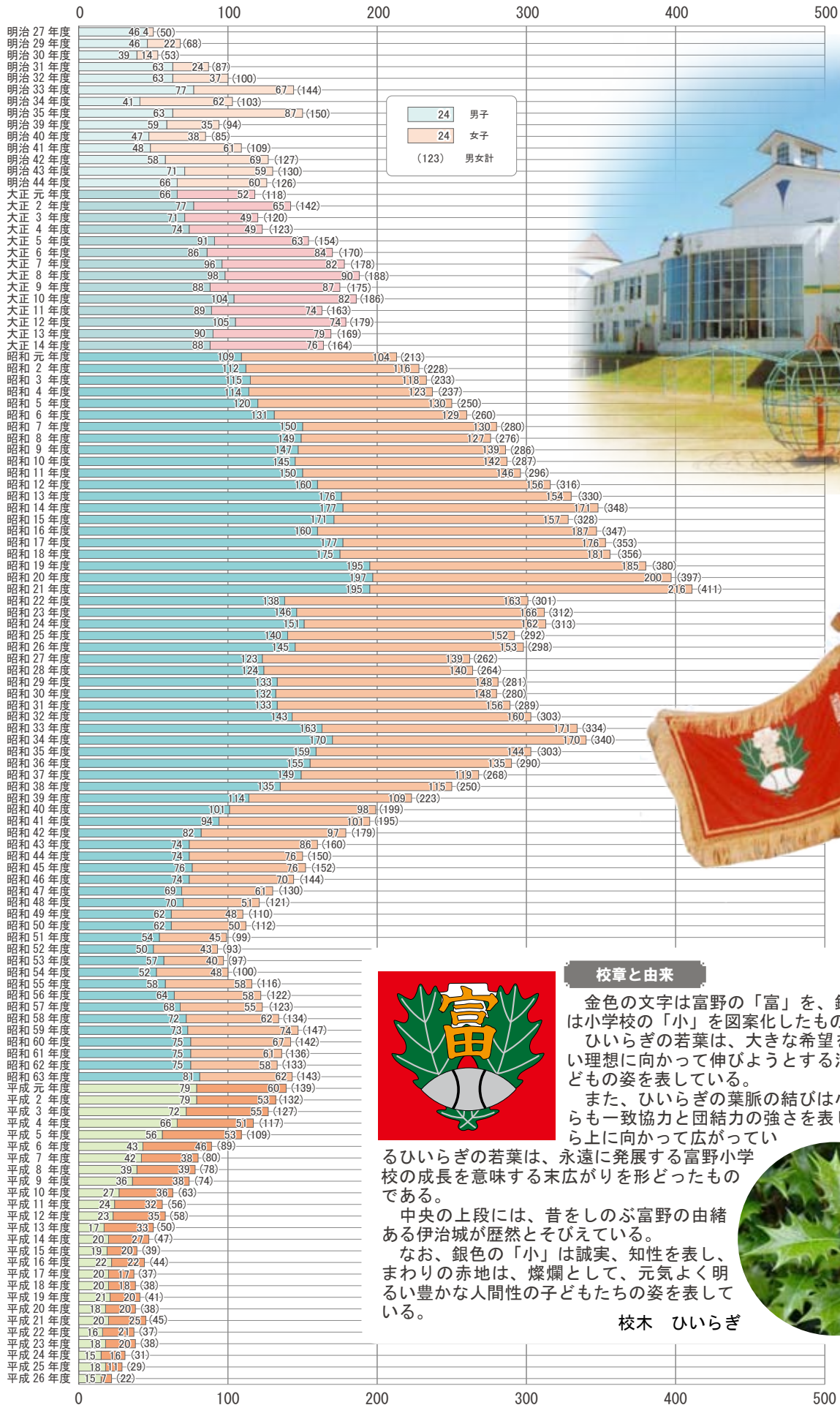
元曲はト長調

- 一、山は栗駒 和やかに
迫の川に 影映す
歴史を誇る 富野なる
明るき窓の 小学校
- 二、昇る朝日に 希望あり
楽しく学び 励むとき
平和の星の まもる里
正しき道を われら行く
- 三、空は清らに 野は広く
学びの園に 伸びしげる
若木の緑 もるとともに
世の曙の 小学校

昭和三十五年十二月 制定



児童数の推移・校旗・校章の由来



校旗

校章と由来



金色の文字は富野の「富」を、銀色の文字は小学校の「小」を図案化したものである。ひいらぎの若葉は、大きな希望を胸に、高い理想に向かって伸びようとする活動的な子どもたちの姿を表している。

また、ひいらぎの葉脈の結びは小さいながらも一致協力と団結力の強さを表し、中心から上に向かって広がっている

るひいらぎの若葉は、永遠に発展する富野小学校の成長を意味する末広がり形を形どったものである。

中央の上段には、昔をしのぶ富野の由緒ある伊治城が歴然とそびえている。

なお、銀色の「小」は誠実、知性を表し、まわりの赤地は、燦爛として、元気よく明るい豊かな人間性の子どもの姿を表している。



校木 ひいらぎ





年月		沿革概要
明治	5	学制公布と共に寺小屋通学者は、宮野村又は尾松村栗原の小学校に通学
	10	黒瀬高橋新造氏宅に仮校舎設置 栗原公立小学校黒瀬分校
	13	7 黒瀬下屋敷に校舎を新築 富野公立小学校となる
	16	2 富野尋常小学校となる
	20	高橋新造氏校地寄付 黒瀬中屋敷に校舎新築移転
	30	9 城生野大堀に校舎移転
	42	4 小学校6年制となる(3学級に編制)
	45	校地拡張
大正	3	12 児童保護者会創立
	9	12 校舎増築(教室125坪)
	10	4 高等科をおき富野尋常高等小学校となる
昭和	6	4 校門建立
	9	4 尋常科全学年単式学級となる
	16	4 栗原郡富野国民学校と改称
	22	4 学制改革により富野村立富野小学校と改称
		5 富野小学校父母教師会発足
	28	4 西校舎改築(4教室110坪)
	29	8 町村合併により築館町立富野小学校と改称
	30	富野小学校幼児学級開設
	35	12 校歌制定(菅原のぶ・二階堂むら子両氏の寄贈) 体育館新築 校庭整地 緑化造園
	37	10 緑化教育研究会公開
	38	7 ミルク給食開始 県緑化コンクール入選
	39	10 鼓笛隊編成
	40	10 特別教育活動研究会公開
42	5 家庭科兼理科室設置	



卒業記念(大正14年度)



成人記念(昭和27年度)



町村合併(昭和29年度)



体育館落成式(昭和36年度)



学校緑化コンクール努力賞(昭和35年度)



鼓笛隊パレード(昭和41年度)



航空写真(昭和49年度)



年月	沿革概要
----	------

昭和 43	7 校旗寄贈（菅原 繁氏）、プール新設 10 家庭科研究公開
-------	-----------------------------------



プール落成記念（昭和 43 年度）



校旗寄贈（昭和 43 年度）



運動会（昭和 44 年度）

47	3 校内放送TVスタジオ新設 県緑化コンクール入選（47～49）
48	鶏舞継承活動開始
49	2 学校完全給食実施
50	4 はげまし学園富野小学校分教室設置 10 優良PTA表彰（宮城県PTA連合会）
51	10 ひいらぎ子供貯蓄組合県知事表彰 11 花壇コンクール県入選



卒業記念（昭和 48 年度）



修学旅行（昭和 51 年度）



宮城県沖地震（昭和 53 年度）



学習指導社会科公開研究会（昭和 53 年度）

53	10 県指定社会科研究公開 11 学校緑化コンクール準特選に入選
54	3 音楽室増築、ピアノ寄贈（父母教師会）
55	10 学校統計文部大臣賞受賞
56	10 子ども銀行大蔵大臣賞受賞 11 西便所改築
57	4 福祉教育普及校指定（57～59）
58	9 運動用具格納庫増築
60	10 自転車置場増設
63	5 富野小学校改築推進協議会発足 10 県学校花壇コンクール入選



ふるさと遊び大会（昭和 54 年度）



授業の風景（昭和 58 年度）



年月	沿革概要	
平成 2	4 県指定「ボランティア活動普及事業協力校」	 <p>青少年赤十字加盟登録式（平成4年度）</p>
	10 グランドピアノ寄贈（菅原 繁氏）	
	3 3 9月4日を開校記念日とする	 <p>むし歯予防推進校（平成5年度）</p>  <p>旧校舎とお別れ式（平成5年度）</p>  <p>プール起工式（平成6年度）</p>
	5 3 旧校舎とのお別れ式 城生野北田沖に校舎を新築 新校舎・体育館竣工式・移転	
	5 県教委指定「むし歯予防推進校」	
	6 3 外溝工事完成・国旗掲揚塔完成 自転車置場完成・焼却炉完成	
	12 プール新築 遊具・花壇完成 植木移転	 <p>田植え（平成6年度）</p>
7	3 校舎南側舗装工事完了 野球用バックネット・学校沿革史板等寄贈（父母教師会）	
	6 P T A奉仕作業前庭芝地造成	 <p>プール新築（平成7年度）</p>  <p>稲刈り（平成7年度）</p>
	9 「健康な口腔とよい歯の学校 優秀賞」県歯科医会表彰	
	10 県教委指定「むし歯予防推進校」研究会公開	
8	3 富野地区在住教職員より応援旗寄贈	
	6 地球の子ども通信国際交流事業（インドネシア）学校訪問 神楽奨励状受彰（大崎・栗原伝統芸能づくり推進協議会）	
	9 歯科保健指導表彰（県歯科医師会） 優良P T A表彰（宮城県P T A連合会）	 <p>国際交流会（平成8年度）</p>  <p>七夕集会（平成8年度）</p>
	11 宮城県健康教育推進校表彰（県教委）	



年月	沿革概要	
平成 9	1 「みやぎオリジナルステージ創作オペラ」 鶏舞出演	
	8 「国際ゆめ交流博覧会」 鶏舞出演	
	11 創立 120 周年を祝う会	
		
		
		<p>国際ゆめ交流博覧会 (平成 9 年度)</p> <p>120 周年記念 (平成 9 年度)</p> <p>ふるさと遊び交流会 (平成 11 年度)</p>
10	2 創立 120 周年記念誌「若木の緑」 発刊	
12	鶏舞衣装 40 着購入 国体リハーサル大会で「鶏舞」 発表	
13	「心をはぐくむ教育」 実践発表 国体ホッケー競技開始式で「鶏舞」 発表	
14	複式学級開始 野鳥愛護校 県学校花壇コンクール優良賞	
15	文部科学省指定「人権教育推進校」	
16	文部科学省指定「人権教育推進校」	
17	シンガポールの子どもたちとの文化交流のタベで「鶏舞」 発表 県学校花壇コンクール入選	
18	「国際子ども会議」 東南アジア 5 カ国の子どもたちとの交流会で「鶏舞」 発表 県学校花壇コンクール入選	
19	県学校花壇コンクール優良賞・高橋長治賞	
20	県健康な口腔とよい歯の学校表彰 県学校花壇コンクール優良賞・高橋長治賞	
21	県健康な口腔とよい歯の学校表彰	
22	宮城県教育委員会指定 「学力向上サポートプログラム事業」	
23	宮城教育大学舞踊発表会で「鶏舞」 披露	
24	自主学習ノートコンクール開催	
25	学校歯科保健功労表彰 県教委指定「栗原市立築館中学校区志教育支援事業」	
26	富野小学校閉校 (閉校式 平成 27 年 3 月 22 日)	<p>国体ホッケー競技開始式 (平成 13 年度)</p> <p>がんばろう栗原神楽 (平成 20 年度)</p> <p>宮教大舞踊発表会 (平成 23 年度)</p>



最後の音楽祭 (平成 26 年度)

学区の概要

本校の学区は、栗原市のほぼ中央に位置し（旧築館町）、東は志波姫、北は金成・栗駒に接している。

学区内を熊川、二迫川、芋塚川が貫流する水田地帯であり、川の恵みにより、肥沃な耕地が形成されている。

古代には東北経営の拠点である伊治城が築かれ、それ以来連綿として人が住み続けた地域である。

城生野神楽が伝承されていることは、この地域は芸能を愛するゆとりがあったことを示している。

富野学区は5つの行政区（大堀、花の木、黒瀬、沖富、根岸）からなり、全校児童22名の小さな学校である。児童は明るく素直で何事に対しても根気強く取り組み、他と競争しようとする気持ちは強くない。

学区内の世帯数は300戸余りで2種兼業農家が多い。祖父母や曾祖父母と同居する児童は9割を超え、子どもの養育に協力する祖父母の役割は大きい。父母も教育活動に関心が高く、PTA活動に主体的に取り組んでいる。

校舎は平成5年度に新築された。旧校地が県の文化財保護指定地「伊治城」内であったため、現在地に移転している。

オープンスペースや小規模校らしい特別教室の工夫など、新しい建築の流れを取り入れた個性的な校舎である。



学区地図



富野小学校の位置

北緯 38度46分
東経 141度02分
海拔 約20m



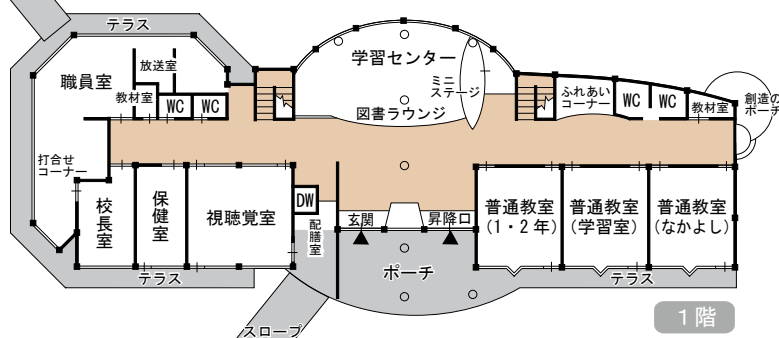
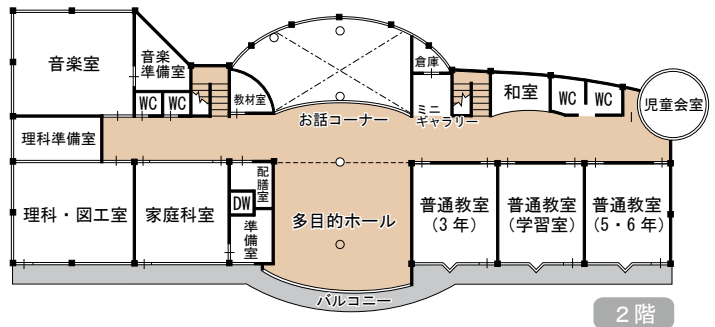
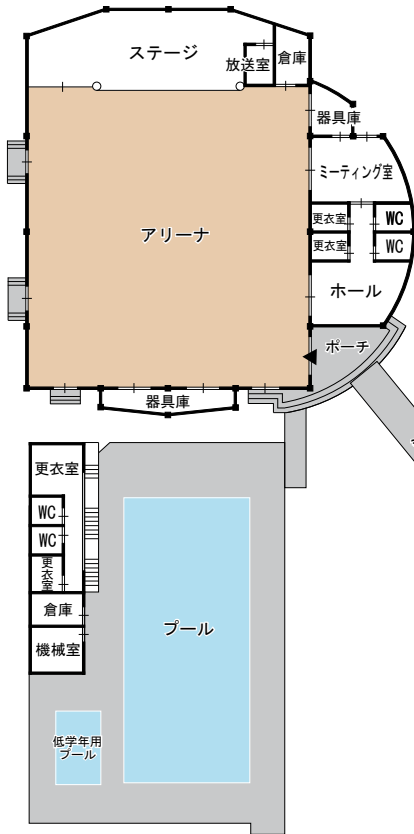
校舎のようす



学校平面図



校舎配置図





歴代校長

初代	佐瀬松之丞 校長	明治 25 年 ～
第 2 代	千葉 直基 校長	～明治 30 年 6 月
第 3 代	千葉敬治郎 校長	明治 30 年 6 月～明治 30 年 10 月
第 4 代	江田 要輔 校長	明治 30 年 10 月～明治 31 年 7 月
第 5 代	佐藤 貞吉 校長	明治 31 年 8 月～明治 38 年 2 月
第 6 代	早坂不二雄 校長	明治 38 年 2 月～明治 39 年 11 月
第 7 代	氏家武一郎 校長	明治 39 年 11 月～明治 41 年 9 月
第 8 代	白鳥音右衛門 校長	明治 41 年 11 月～大正 3 年 12 月
第 9 代	及川 正助 校長	大正 3 年 12 月～大正 9 年 12 月
第 10 代	佐竹 馨 校長	大正 9 年 12 月～大正 14 年 3 月
第 11 代	中村林兵衛 校長	大正 14 年 4 月～昭和 3 年 3 月
第 12 代	千田 大治 校長	昭和 3 年 3 月～昭和 6 年 4 月
第 13 代	戸田 友直 校長	昭和 6 年 4 月～昭和 9 年度
第 14 代	太田 務謹 校長	昭和 10 年度
第 15 代	齋藤菊之助 校長	昭和 11 年度～昭和 13 年度
第 16 代	門脇 一郎 校長	昭和 14 年度～昭和 16 年度
第 17 代	上野 久 校長	昭和 17 年度～昭和 19 年 1 月
第 18 代	黒沢 二郎 校長	昭和 19 年 2 月～昭和 20 年度
第 19 代	鈴木 健吾 校長	昭和 21 年度～昭和 24 年度
第 20 代	菅原 堯 校長	昭和 25 年度～昭和 28 年度
第 21 代	山田 伝 校長	昭和 29 年度～昭和 30 年度
第 22 代	鎌田 三男 校長	昭和 31 年度～昭和 32 年度
第 23 代	内田 丈夫 校長	昭和 33 年度～昭和 34 年度
第 24 代	菅原 義雄 校長	昭和 35 年度～昭和 38 年度
第 25 代	工藤 武 校長	昭和 39 年度～昭和 41 年度
第 26 代	千葉 宗三 校長	昭和 42 年度～昭和 44 年度
第 27 代	佐藤 正平 校長	昭和 45 年度～昭和 47 年度
第 28 代	桜井 正則 校長	昭和 48 年度～昭和 49 年 1 月
第 29 代	田村 成喜 校長	昭和 49 年 2 月～昭和 51 年度
第 30 代	佐藤 哲 校長	昭和 52 年度～昭和 54 年度
第 31 代	伊藤 清 校長	昭和 55 年度～昭和 59 年度
第 32 代	佐藤 恒之 校長	昭和 60 年度～昭和 61 年度
第 33 代	高橋雅五郎 校長	昭和 62 年度～昭和 63 年度
第 34 代	三浦 宮司 校長	平成 元年度～平成 2 年度
第 35 代	三浦 傳 校長	平成 3 年度～平成 6 年度
第 36 代	鶴田 勇 校長	平成 7 年度～平成 8 年度
第 37 代	高橋 司郎 校長	平成 9 年度～平成 10 年度
第 38 代	佐藤 善司 校長	平成 11 年度～平成 12 年度
第 39 代	片倉 剛 校長	平成 13 年度～平成 14 年度
第 40 代	千葉 豊茂 校長	平成 15 年度～平成 16 年度
第 41 代	及川 英之 校長	平成 17 年度～平成 19 年度
第 42 代	佐々布隆一 校長	平成 20 年度～平成 21 年度
第 43 代	福原 寿郎 校長	平成 22 年度～平成 24 年度
第 44 代	氏家 勝昭 校長	平成 25 年度～平成 26 年度



初代	千葉英之亮	会長	昭和22年度
第2代	三浦喜一	会長	昭和23年度～昭和25年度
第3代	高橋彌太郎	会長	昭和26年度～昭和31年度
第4代	千葉健太郎	会長	昭和32年度～昭和33年度
第5代	須藤一志	会長	昭和34年度～昭和37年度
第6代	菅原庄悦	会長	昭和38年度～昭和40年度
第7代	高橋種政	会長	昭和41年度
第8代	三浦定八郎	会長	昭和42年度～昭和44年度
第9代	菅原藤一	会長	昭和45年度
第10代	熊谷洸	会長	昭和46年度
第11代	加藤利彦	会長	昭和47年度～昭和49年度
第12代	千葉四男	会長	昭和50年度～昭和51年度
第13代	高橋清	会長	昭和52年度
第14代	千葉彦	会長	昭和53年度
第15代	千葉敏男	会長	昭和54年度
第16代	高橋堯	会長	昭和55年度～昭和61年度
第17代	高橋善信	会長	昭和62年度～昭和63年度
第18代	高橋利見	会長	平成元年度～平成2年度
第19代	大場美博	会長	平成3年度～平成4年度
第20代	佐藤正行	会長	平成5年度
第21代	宮東正光	会長	平成6年度
第22代	高橋金作	会長	平成7年度
第23代	佐藤智	会長	平成8年度～平成9年度
第24代	佐藤藤夫	会長	平成10年度
第25代	千葉長	会長	平成11年度
第26代	千葉和弘	会長	平成12年度
第27代	菅原信行	会長	平成13年度～平成14年度
第28代	伊藤博幸	会長	平成15年度
第29代	菅原信行	会長	平成16年度
第30代	鈴木剛	会長	平成17年度
第31代	千葉賢	会長	平成18年度～平成19年度
第32代	千葉健一	会長	平成20年度～平成21年度
第33代	菅原清国	会長	平成22年度～平成24年度
第34代	佐藤忠美	会長	平成25年度～平成26年度



大仏山（平成26年度）

地域と共に歩む富野小学校

第41代校長 及川 英之

平成17年4月富野小学校に新任校長として赴任し、3年間在職させていただきました。

明るく元気な子どもたち、熱意あふれる教職員、保護者・地域の皆様に温かく支えていただきました。地域と共に歩む富野小学校で楽しく勤務できたことは、私の長い教員人生の中でも印象に残っています。

花が咲きほこり風車が舞っているきれいな学校。宮城県学校花壇コンクール優良賞。薬師まつりやシンガポールの子もたちとの交流会で見た鶏舞、運動会、水泳・陸上・ホッケー大会、音楽祭、学芸会、ひいらぎ祭、親子ふれあい教室等、どの行事も皆さんと共に喜びを分かち合うことができたことは、一生忘れることはありません。

あれから10年、あの子どもたちも、富野小学校で学んだことを誇りに思い、大きく立派に成長していることでしょう。

富野小学校の閉校は、誠に残念で寂しい気持ちで一杯です。富野小学校がこれまで築きあげてきた輝かしい歴史と伝統は、築館小学校に引き継がれ、さらに輝き続けるものと確信いたします。



入学式（平成18年度）



朝会（平成19年度）

遠足（平成19年度）

地域に根差した歴史と伝統を

第42代校長 佐々布 隆一

赴任日に車窓の国道4号線から眺めた田園の中にたたくメルヘン調の富野小学校にときめきを覚えたことがつい最近のように思い出されます。そのとおり、平成20年度から2年間の富野小学校での校長生活は、短期間ですが中身の濃い思い出深いものでした。

素直でひたむきに学習・運動に取り組む子どもたちと、学校を温かく見守り、協力を依頼するとすぐに駆けつけてくれる保護者や地域の方々のことが強く心に残っております。

特に、学校田を活用した栽培活動では、田植えや稲刈りをし、命を育むことの大変さと喜びを子どもたちと共に体験できました。専門的な知識や技術を持った地域の農業従事者の方々の支援のお陰です。他にも、伝統芸能である「鶏舞」などに保護者や地域の方々が学校と共に歩んでいることを実感でき感激しました。

今、こうして富野小学校のことを書いていますと様々なことが思い出されます。閉校しても、これまで学校と地域で築き上げてきた歴史と伝統は語り継がれていって欲しいと思います。



学校田での栽培活動
田植え・稲刈り平成20年度)

富野小学校よ!永遠に!!

新任校長として、胸を弾ませ、富野小学校の校門を通り抜けた日が、昨日のように思い起こされます。

一人一人宝石のように光り輝く子どもたち。どんな時でも支援を惜しまない保護者の皆様。そして笑顔と協働の精神を抱き続けた先生方。最高の環境の中で、私は3年間仕事をさせていただきました。

着任1年目の3月。あの東日本大震災が、富野小学校にも襲いかかってきました。でもその時、一人の怪我人も出さず、その後心的ストレスを抱える子どももいませんでした。何よりも、この事を自慢したい気持ちです。

富野といえば「鶏舞」です。初めての運動会。入学したばかりの1年生から、衣装をまとって鮮やかに踊る6年生。さらに、小学生を両脇から温かく包みこむようにして、演技に参加してくれた中学生や高校生の磨きのかかった踊り!! 見ている会場の方々もその踊りに吸い込まれているようで、私は鳥肌が立つくらい感動したことを覚えています。

閉校しても、私たちの心の中に富野小学校は、永遠に生き続けていくでしょう。

第43代校長 福原 寿郎



遠足 (平成24年度)



日独交流 (平成23年度)

宮教大舞踊発表会 (平成23年度)

富野小学校と鶏舞

城生野神楽保存会会長

佐藤 安美（昭和39年度卒）

富野小学校を開校して138年の歴史に幕が降り、約50年間踊り伝えられて来た鶏舞も富野小学校として今年度が最後だと思うと、感慨無量で淋しく思います。

地域の人達に親しまれてきた鶏舞が富小で取り入れられたのは昭和39年頃と聞きます。加藤儀平氏、加藤義勝氏、佐藤萬氏が中心に指導し、学芸会や運動会で踊っていました。ダンダンダンと勇壮な太鼓と鉦で始まり、センヤーハーハー、舞舞わばホー舞をば静かに柔らかにホーと囃子の唄とは裏腹に激しく勇壮な踊りが城生野神楽の鶏舞です。6年生を中心に国体のホッケー開始式、東北博覧会のアトラクション。全校児童が舞うようになったのは、昭和57年の運動会からでした。皆見よう見まねで一生懸命踊りましたね。今年の運動会では富小卒の中高生も集まり小中高合同の鶏舞、迫力満点でした。薬師まつりの歓待の儀では、黒山の人だかりの観衆の前で踊り、拍手喝采をいただきました。色々なイベントに招待されてたくさんの思い出があります。

富小と言えば、鶏舞と有名になりました。50年舞った富小の歴史は残ります。そして、郷土を愛し鶏舞を愛して下さい。私達保存会はいつでも教えます。永遠に鶏舞が演舞されると信じています。



薬師まつり（平成26年度）



国体開始式（平成13年度）



グリーンフェア（平成元年度）



未来の東北博覧会（昭和62年度）



宮教大舞踊発表会（平成23年度）

ひいらぎ剣道スポーツ少年団は永遠に

自分を育ててくれた高橋三男先生への恩返しのつもりで引き受けたコーチだったが、今は監督として富野小学校の子どもたちを指導する立場となった。

20歳から32年間の指導で何人の子どもたちを指導したのだろうか？一人一人の顔は思い出せるが、名前が出てこない。ある卒業生から三男先生にアイスをご馳走になったのは忘れないと言われた。今、私もアイスや肉まん等を食べさせながら厳しく指導している。毎年子どもたち一人一人の性格、運動神経等を考えながらチームを編成するのだが、いかに成績を残せるか頭を悩ませてしまう。最近では6年生が少なく低学年を含めた選手構成となるが、それでも子どもたちはいろいろな賞をもらってくる。大したものである。指導する張り合いも出てくる。

水戸の全国大会は今でも毎年出場しているが、勝ち進むのは難しい。全国大会へ行って戦ってきたという思い出を胸に中学校で頑張ってもらえればそれでいい。暑い中や寒い中での稽古に耐え、一生懸命頑張っている子どもたちはびっくりするほど成長している。

ひいらぎ剣道スポーツ少年団はこれからも続いていく。

ひいらぎ剣道スポーツ少年団監督

千葉 嘉彦（昭和48年度卒）



水戸大会（平成16年度）

北海道



水戸大会（平成21年度）



水戸大会（平成11年度）



水戸大会（平成15年度）



千葉四郎兵衛杯（平成24年度）



ライオンズクラブ杯（平成25年度）



栗駒武道祭（平成26年度）



水戸大会（平成21年度）

歴史と伝統の灯消える

第13代 PTA会長 高橋 清 (昭和23年度卒)

私たちの母校、現富野小学校が明治十年に開校と同時に誕生し、明治・大正・昭和と受け継がれて、現在に至っている。その間、社会情勢の変化や、激動時の中での改革がありましたが、幾多の由緒に満ちた伝統と文化が受け継がれてきました。すばらしき尊い138年の歴史を迎えられたことに、私は心から感銘するところです。

しかしながら、今時節の社会構造の変化に伴い、地域の過疎化や更なる少子化等の重圧の追い討ちを受けて、ついに富野小学校が130余年の歴史に幕を下ろすことは、心苦しく大変残念に思います。

これまでに優越に満ちた無形文化財神楽鶏舞が地区民あげて、親から子へ、子から孫へ受け継がれ勇壮にそして華麗に舞う姿は、万人の心に感銘と感動を与えてくれました。

このよき伝承を受け継いできた、より良き環境の富野小学校の窓から永遠に歴史と伝統のドラマの灯が今消える。

授業の様子 (昭和初期)



富小閉校に思う

第16代 PTA会長 高橋 堯

私がPTAの頃は、児童数130数名で会員数は80数名おられまして活動が盛んでした。特に男子の会員の方々に積極的に参加していただき、それぞれ仕事を持ちながらも、役員や各種の行事等にも参加していただきました。男女問わず両親の参加協力で活動は盛り上がり、ややもすると子ども抜きで、親達の活動の感さえありました。ある時は先生方とも議論をし、とことん話し合う事もありました。

一人の児童の発案により、花山少年自然の家での「親子スキー教室」を取り入れたことが今迄引き継いで来ているというのは大きな一つの思い出です。

富野小学校へ赴任された先生方には、富野小学校の子どもたちは、明るく良い子どもたちで環境も素晴らしいと言っていただきましたが、小さな富野という地域であるからであり、地域みんなの誇りでもあります。

閉校にはさみしさを感じますが、富野村の時代より、明治・大正・昭和・平成と地域の要であり、子どもから大人まで、親しみ、集い、学びの大きな役割を果たして来た富野小学校。いつまでも心に残る事でしょう。



親子スキー教室 (平成9年度)



親子ふれあい教室 (平成25年度)

未来へ!

第20代 PTA会長 佐藤 正行

私の知る限り、明治29年度卒の曾おじいさんから孫まで、6代に亘って富野の学校で学んでまいりました。多くの卒業生を輩出した小さな学校も今年度をもって閉校になります。

思い起こせば楽しかった学校生活ですが、4年生の時に起きた宮城県北部地震や、6年生の時の新潟地震の恐怖が今も鮮烈に頭をよぎります。

長男が小学校入学と同時にPTA活動に参加。体育会系の自分は当然のように保体部で協力をさせていただきました。大きな行事は「バレー大会」と「親子スキー教室」だったでしょうか。先輩方が始めてくれたスキー教室は大型バスを仕立てての大規模なものでした。次第に親たちの方が燃え、研修会と称して遠くは安比高原まで練習に行ったりもしました。

花山少年自然の家での2日間は、上級生が下級生の面倒を見て寝食を共にし、班対抗のゲームで盛り上がり、本当に意義のある活動だったと懐かしく思い出されます。

平成5年に1年間だけでしたがPTA会長として皆様にお世話になりました。この年、県の教育委員会から『むしば予防推進校』の指定を受け、子どもたちと共に歯みがきに精を出したのも良き思い出です。当時の子どもたちは今でもきれいな歯をしてるかな…

閉校になるのは寂しいですが、これも時代の流れと受け止めるしかないのでしょう。社会がグローバル化に進んでいる中、子どもたちも世界に大きく羽ばたいていくよう願っています。小さな学校でしたが真剣に子どもたちに向き合ってくれた多くの先生方、お疲れ様でした。そして、ありがとうございました。



むしば予防推進校（平成5年度）

いつも地域の拠り所となって

第24代 PTA会長 佐藤 藤夫

近年の社会構造の大きな変化に伴い、栗原管内でも過疎化・少子化が進行する中で、これまで、いつも富野地区の拠り所となってきた小学校が平成26年度をもって歴史に幕を閉じることは、寂しさに胸を打たれます。

私は3人の子どもが小学校在学中のPTA活動が忘れられません。会員となってすぐに平成5年度の校舎新築に伴っての先生方と一緒に行った引っ越し作業。そして、まだ記憶に新しいと思います。創立120周年記念事業など、いつも地域の皆様に支えられながら開催され、盛り上げていただきましたことに、当時の役員としてあらためて感謝いたします。

その17年後に閉校となりましたが、これも時代の流れでやむを得ないと思います。

明治10年の開校以来、数多くの卒業生を送り出し、それぞれが多方面で活躍されています。

これまで、小学校は教育はもとより、子どもたちや地域の皆様の心の拠り所として大きな役割を果たしてきました。

そして、今その役割を終えようとしていますが、これまで築き上げた地域の絆は今後も強くしていきたいものと思っています。



120周年記念（平成9年度）

富野小学校の思い出

第31代 PTA会長 千葉 賢

富野小学校が閉校すると聞かされて、とても残念な気持ちでいっぱいです。

私も富野小学校を卒業しましたが、今思い出しても楽しい思い出ばかりで、先生方と一緒に遊んだし、勉強もそこそこしました。

私の子ども2人も富野小学校を卒業していますが、閉校するのは淋しいと話していました。

富野小学校の子どもたちは、1年生から6年生まで本当に仲が良く、いろいろな繋がりが強かったと思います。

ここに書ききれない程の思い出がいっぱいありますが、本当に良い小学校でした。

来年度から築館小学校へ行く子どもたちも、いつまでも富野小学校での思い出を忘れずに頑張ってください。



110番教室（平成19年度）

富野小学校PTAの活動

綱引き（平成9年度）



PTA親子ふれあい教室（平成13年度）



学年PTA（平成18年度）



PTA講演会（平成21年度）



学年PTA（平成22年度）



学年PTA（平成23年度）

良き時代に学んで

花の木地区 千葉 文代（昭和38年度卒）

6年間学んだそれぞれの教室には、いろんな思い出がたくさんありました。しかし卒業してもう50年。記憶も薄れてきましたが、外で元気に遊んでいたみんなの姿だけは、まるで動画のように目に浮かびます。

休み時間になると、我先とテラスに飛び出しゴムとび、馬っこ乗り、石けりなど、みんなで遊ぶのがとても楽しいことでした。あの頃は一学年50人と大勢だったので、教室の前のテラスはいつも賑やかで、他の学年との交流の場にもなっていました。

高学年になると、放課後にそろばんを教わるようになりました。もう遊んでばかりいられません。誰もが上の級を目指して頑張ったものです。

また、緑化運動にも力を入れていたので、それが賞に入り代表して知事から賞状をいただいて来た事を覚えています。

私たちは環境の素晴らしい学校で、のびのび学んで遊んで良き時代を過ごしたと思っています。たとえ富野小の名称が無くなっても卒業生にとって、懐かしい校舎の思い出は、消えることはありません。

緑化活動の様子（昭和36年度）



富野の良さを次代へつなげよう

花の木地区 齋藤 義憲

富野小の伝統神楽「鶏舞」を見るたび、子どもたちのパワフルな演技に誰しも魅了される。

これまで県内外から数々の招待を受け、富野の伝統の素晴らしさをアピールしてきた。「東北博覧会」や「地域の子ども通信国際会議 in みやぎ」など、世界の子どもたちの国際文化交流で披露し絶賛を得た。

しかし学校統合により、この伝承活動も途絶えるのではないかと心配している。

以前、学校から全校朝会や社会の授業で富野の歴史講話を依頼された。子どもたちには、伊治城や栗原の地名の起こり、黒瀬や城生野の姫物語、城生野神楽と富助、富村と城生野村の地名などを話し、この地は栗原の歴史と伝統が息づく「ロマン富野王国」、この宝を大切にしたいと子どもたちに呼びかけた。

子どもたちからは、「鶏舞をいつまでも引き継いでいきたい。」との力強い声が聞かれた。

文化（伝承）遺産は、地域への理解を深め、地域で生きることへの誇りであり、地域の人と人、人と地域をつなぐ役割を果たしている。

こうした富野の良さを、地域ぐるみで後の世代へ確実につなげる努力が求められている。



富野の歴史講話 伊治城の説明

鶏舞に思いを込めて

花の木地区 千葉 久子（昭和59年度～昭和63年度勤務）

私が勤務させていただいた富野小学校は、今の出土文化財管理センターにありました。平屋で壁は傷が目立ち、廊下は微妙に曲がったそれでいて懐かしい温かさを感じることのできる学校でした。今から30年程前のことです。

富野小学校での思い出の一つが鶏舞です。運動会、学芸会ばかりでなく、町内のいろいろな行事に呼ばれ、見事なまでに踊り切りました。踊り切る…この言葉がふさわしい一つ一つの動きに切れのある動きで踊る6年生の姿は圧巻でした。そんな6年生に仙台港で行われた東北博覧会出場の声が掛かりました。昭和62年のことです。決定するとすぐ保護者の方々が黒瀬のアサヒ白衣さんに集まって夜衣装づくり、6年生は校長先生の指導でかぶとづくり、もちろん毎日の鶏舞練習も欠かしませんでした。地元の神楽保存会の方々も頻繁においでくださり、助言・指導をしてくださいました。富野の力の結集です。当日は台風で大雨の中でしたが見事に踊り抜きました。

築館小との再編にあたり、鶏舞に込められた富野小の先輩たちの思いを引き継ぎ、いつまでも大事にしてほしいと願います。



未来の東北博覧会（昭和62年度）

感謝の気持ちを込めて

花の木地区 小野寺（高橋）真美

我が家では、祖父、父、叔母、妹、娘まで4代にわたりお世話になり、様々な思い出を作っていました。

平成14年、赤いランドセルを背負った娘が新しい校舎に入学する時は、感慨深い思い出でした。母と娘が同じ通学路を通い、同じ風景を眺め、楽しい学校生活を送れる様に願っていたのが、昨日の様に思い出されます。

春には運動会。今は亡き父が、孫のためお世話になる学校の校庭の整備がしたいと申し出たのです。私が「他の父兄の方もいらっしゃるのだから、おじいさんがそんな事をしなくてもいいんだよ。」と言う言葉に耳もかさず、整備を始めてしまいました。他のお子さんが怪我をしないように当日まで心配をしていました。孫の姿を嬉しそうに見つめる顔が今でも忘れられません。

冬にはひいらぎ祭。子どもたちが準備をしたゲームで楽しみ、手作りのメダルをいただき、収穫をした餅米で餅つきをし、みんなで美味しくいただきました。父兄は準備に追われましたね。

それから、伝統でもある鶏舞は19歳になった娘が今でも太鼓や歌、すりがねなどの響きを聞くと踊れると言います。これも鶏舞の指導をしていただいた先生方のおかげとっております。

まだまだ思い出は尽きませんが、このような楽しい思い出があるのも、子どもたちを優しく導いてくださいました先生方や地域の皆様の支えがあつての事と思い感謝しております。

これからの再編が地域の子どものための明るい未来への一歩でありますように祈っています。



6年生を送る会（平成19年度）

学校緑化事業の思い出

大堀地区 白鳥 孝義

私は志波姫出身、子どもたちは昭和51年4月から61年3月までお世話になりました。

P T A活動に参加するたびに、校庭の樹木の美しさに感動いたしました。昭和53年11月、学校緑化コンクールで準特選表彰を受け大変な喜びでした。

当時は、P T Aの緑化活動のほかに、富野学区全域から植木剪定の名手の人々を「緑化委員」に委嘱いたし、その委員長の指示により、竿ひば、松の木等大木が多く大変な作業を続けながら景観を守りました。現在の「ボランティア活動」で、自分は将来のため先輩から剪定技術を学ぼうとし、職場から年休をいただき参加しました。

緑化委員は、子や孫が学校に在籍していても「地域の学校」と考え、春と秋の2回、作業に汗を流していただきました。この頃、誰もが閉校を考えたことも、頭をよぎったこともないでしょう。

文化の中心であった学校が閉校となると、富野学区内のリーダー会のようなものを結成して、今まで先輩方が協働の精神で富小を育ててくれたように、地域活動の中でさらに地域が一体となって行かなければと考えます。



緑化活動（昭和50年代）



学校環境緑化活動

緑化コンクール努力賞（昭和37年度）



私の実家は富野小学校

大堀地区 菅原 京子

「富野小学校がなくなる。」「ああ実家がなくなる。」

何十年前の事が今走馬灯の様に思い出され、胸の中に一抹の寂しさを感じています。

終戦の年、昭和20年10月東京から引き揚げ、富野村立富野小学校に母が用務員として働く事になり、親子4人、後で妹が生まれ5人の学校での生活が始まったのでした。活動着モンペ姿の母がいつも腕まくりをし、小さな体でせかせかと働いているのを思い出します。冬になるとダルマストーブでしたので、燃えつきが悪いと母と2人手ぬぐいでほおかむりをし、煙突掃除をした事、井戸からつるべで水をくみ、バケツでかめいっぱいになるまで運ばされた事等、あの頃はどこでもそうでしたので苦にはなりませんでした。

昭和48年10月、母の後を引き継ぎ、町立富野小学校に勤務することになりましたが、学校が自分の母校だったので、別に働く事に対して嫌と思った事はありませんでした。昭和40年頃は、学校緑化が盛んで緑化委員の方々とは汗水流して働き、母と2人緑化の方で県から表彰になりました。これも先生方、地区の人達のお陰と思っています。今思うと校長先生始め、先生方皆さんがとてもいい人達ばかりでしたので、助けられたのでしょね。子育てしながらよく頑張ったものです。

築中へ異動の時は、子どもたちの前で挨拶の時、声を出して泣いてしまいました。実家から離れる気持ちだったんでしょうね。小学校時代、そして用務員として働いた富野小学校。最高の人生でした。



高等科（昭和21年度）

富野小学校の思い出

大堀地区 千葉 由佳

月日の流れは早いもので、我が子が卒業し富野小学校を離れて8か月が過ぎました。

富野小学校は規模が小さいのですが、子どもたちは生き生きと活動できる場でした。

富野小学校の思い出は沢山あり、伝統である鶏舞、ひいらぎ祭。子どもたちが工夫して作った遊びはアイデアいっぱいでした。学習田がなくなり出来なくなりましたが、田植えや臼での餅つきは貴重な体験だった事でしょう。春の運動会。綺麗に技をきめた組体操。地区障害物競走でのラムネ一気飲み。借り物競走も心に残っています。学芸会では、一人二役。少人数でも立派な劇で笑いあり、感動ありのいい学芸会でした。



毎年2月には、伝統である親子ふれあい教室。花山でのスキー、そり遊び、レクリエーション。スキーでは子どもたちの上達ぶりにびっくりさせられ、大人も大きなそりで童心に帰って楽しみました。父兄、先生方、子どもたちと楽しく交流できる行事でした。

地域の方々に親しまれた学校が閉校する事は残念ですが、富野小学校での思い出はいつまでも心に生き続ける事でしょう。

運動会

小校のハンディを克服した剣道と鶏舞

黒瀬地区 高橋 則子

昭和45年4月、長男の手を引いて富野小学校の門をくぐった事が昨日のように、反面遠い遠い昔の事のように思い起こされました。

47年には次男、52年には三男と13年間3人の母として、またPTA副会長として富野小学校にお世話さまになりました。

当時長男の学年は23名、次男は14名、三男は12名と少子化は進んでおりましたが、まあまあの人数でした。最も大きな理由は越境入学が厳しく禁じられ、富野の子どもは、他の地区には入学できないことでした。富野では野球もサッカーもチームは作れません。

上級生とチームを組む剣道と強い体力と精神力を育てる鶏舞に地域の方々のご指導を得、練習に取り組みました。二つのスポーツから小校のハンディを克服し、多勢の中学校生活にも耐えられる強い子どもたちに成長することができました。一番大切な幼少の時期に人間として家庭的な教育を受けた子どもたちも幸せな学校生活だったと思います。素直で明るい子どもに育てていただいて感謝いたしております。ひとえに地域の皆さんと先生方の温かいお力があったからと重ねてお礼申し上げます。

ひいらぎ剣道水戸大会（平成20年度）



ひいらぎに育まれて

黒瀬地区 鈴木 威郎（昭和61年度卒）

富野小学校が閉校するとの知らせを聞き、久しぶりに卒業アルバムを開きました。小さな木造校舎で19人の同級生たちと取り組んだ学芸会、水泳、神楽などいろいろな思い出が蘇ってきます。そこには、豊かな自然と人の優しさがあふれ、地域の結びつきの象徴としての富野小学校がありました。

特に思い出深いのは、ほとんどの男子児童が入っていた「ひいらぎスポーツ少年団」の活動です。3年生から6年生まで、朝、眠たい目をこすって練習に通いました。響く竹刀の音と気合の声…。剣道に明け暮れた体育館は、自分の原点とも言える場所でした。

今は東京に住んでいますが、マンションや住宅に囲まれ狭い敷地にある小学校に通う子どもたちを見るにつけ、田んぼ道を虫とりや川遊びをしながら登下校した体験が貴重なものに思えてきます。

卒業アルバムの最後には、卒業式で歌った歌の歌詞が貼られていました。その歌詞の言葉を借りて…

「夏の日差しにも 冬の空の下でも
みんなまぶしく 輝いていた ありがとう さようなら 富野小学校」

授業の様子(昭和61年度)



ふるさとまつり

沖富地区 白鳥 久子

どんぶく、つぬぎ、どてらを着た子たちが雪の積もった校庭に集合、竹馬、羽子板、お手玉を用意しています。お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、地域の皆さんも集まってくれました。子どもたちのヨーイドンの合図で、お父さんと竹馬での競争、ちょっと先生も入ったり、お母さんと羽根つき、負けた方にスミを塗り「だれだっけ。」と思わず大笑いしたっけ。おばあちゃんの歌に合わせてのお手玉。なかなかうまく行かなかったね。おじいさんにコマ作りを手を取りながら教わったっけ、その後誰が一番かと競争したっけ、回った時はうれしかったね。

石の臼でみんなで餅つき。「よいしょ。よいしょ。」と声をかけながらついたっけ。体育館であんこ、納豆、きなこ、ごま、ひきな餅をお腹いっぱい数えながら食べたっけ。とてもおいしかったね。みんなとふれあった楽しい日だったね。



ふるさと遊び（昭和53年度）

富野小学校での思い出

沖富地区 千葉 颯太郎（平成19年度卒）

私には富野小学校での思い出がたくさんあります。今回の築館小学校との統合の話聞いた時はとてもびっくりしました。さみしい気持ちでいっぱいですが、私は富野小学校で多くのことを学び、たくさんの友達、地域の皆さんと交流ができたことにより今の自分があるのだと思います。

小学校では、人数の少ないものの、クラス全員、全校全員が仲良く毎日が楽しく思えました。中でも、学校田を使った米作りが一番心に残っています。自分たちで田植えをし、自分たちで収穫、そしてひらぎ祭で地域の皆さんと一緒に食べたおもちが最高に美味しかったことを今でも覚えています。

他にも畑で野菜を作るという経験は、今の自分の夢「農家になる」を作りあげたのだと思います。先生方を始め地域の皆さんにはとても感謝しています。

そして地域の伝統である城生野神楽に携わることができ、本当に良かったと思っています。富野小学校で学んだ6年間は、とても充実し、先生方を始め多くの方々と過ごした時間は最高の思い出です。

開校以来138年間本当にありがとうございました。そして、お疲れ様でした。



稲刈り（平成20年度）

富小ありがとう

根岸地区 菅原 昭一（昭和34年度卒）

20年程前、同級会の案内状に「現在富野小学校は新築中です。古い学び舎にお別れしましょう。」と記載して全国に散らばっている70余名に発送しました。同級会当日学校前集合、記念写真を撮り「孫たちが立派な校舎で勉強できることを夢に」と語り合いました。

さて、私は在職中避難訓練指導の為、当時の文字小学校に行ったところ、校長先生は6年生の担任であった金成沢辺の新沼先生でした。富小時代の話に花が咲いた事は勿論です。

定年退職後は栗原シルバー人材センターの仕事で送迎業務をしています。利用者の方に富小で教鞭をとられた築館太田の斉藤先生がいます。「運転手さん富小だね、私をわかる。」と尋ねられたので、とっさに「斉藤先生、当時と変わらず元気ですね。」と返事をしました。富野小学校の先生を忘れる事はありません。

私たちが学んだ富野小学校が閉校しても、先生や学校での思い出は永遠に忘れません。

富野小学校で教鞭をとられた先生方、いつまでもお元気で私たちにご指導をお願いします。

富野小学校ありがとうございました。



旧校舎とのお別れ式（平成4年度）

富野小学校の思い出

根岸地区 菅原 京二（昭和54年度卒）

3世代（父、私、子ども）それぞれ別々の校舎で学びました。父も私も子どもたちも学校まで2km弱の道を毎日通学しました。歩いたり自転車だったり、家から学校までの風景は、桜の季節から雪の日まで、大変懐かしく思い出されます。一緒に学んだ仲間、先生、地域の方々の顔は今でもはっきり思い出すことができます。

富野小学校がなくなることは、本当に残念です。富野小学校ならではの鶏舞やひいらぎスポーツ少年団等、何かの形で残していただければ嬉しいです。



授業の様子（昭和53年度）



宮城県沖地震（昭和53年度）



ふるさと遊び大会（昭和54年度）

1年生

2年生といっしょにべんきょうしたり、3、5、6年生とあそんだりしてたのしかったです。

とみ小のみんなが大すきです。とみ小でべんきょうできてよかったです。1年かん、とてもたのしかったです。

ともだちにやさしくしてもらったことを、ぼくはわすれません。



サマースクール（平成26年度）

2年生

みんなでいっしょに算数や図工や生活のべんきょうをして楽しかったです。戸田先生といっしょに算数をした時、さんすうボックスのお金であそびました。楽しかったです。

それから、ゆうこ先生といっしょに体育のべんきょうでドッジボールをして楽しかったです。

ぼくが一番の思い出は、学芸会です。

1、2年のげきは、3びきのこぶたで、ぼくは、れんがのおうちを作るブーきちでした。おおかみにおそわれないおうちを作るやくでよかったです。

おうちの人に「龍輝の声、よく聞こえたよ。」と言われて、うれしかったです。



学芸会（平成26年度）



ぼくの思い出は、1、2、3年生がなかよくみんなで遠足に行けたことです。

八木山どうぶつえんでは、ワニガメにさわれました。まつしま水ぞくかんでは、一番すきなマンボウに会えました。

みんなでけがをしないようにして行けたことが、一番うれしかったです。



見学記念（平成26年度）

ぼくは、夏休みに毎日プールに来て、たくさん遊びました。だから泳ぎが上手になりました。

とみ野小学校のプールが大すきでした。先生と紙ひこうきをけんきゅうしたり、どじょうさがしをしたことも楽しかったです。

3年生



ひいらぎ祭
(平成24年度)

1年生の時、ひいらぎまつりのじゅんぴで、分からないことがいっぱいあったけど6年生が教えてくれたのでうれしかったです。

2年生の時の思い出はなわとびです。後ろあやとびが30回いじょうできたことです。

3年生の時学芸会を上手にできてうれしかったです。



1年生の時さいしよの運動会は、すぐきんちょうしたけど2年生になってなれました。学芸会も4人でやってせいこうしてうれしかったです。

3年生になっても4人でやって1年生の時より大へんだったけどせいこうしてよかったです。



1ぼくの富野小学校の思い出は、運動会です。1年生で楽しかったきょうぎは、かけっこです。

さい後まであきらめないでできてよかったです。2年生では、玉入れです。おばあちゃんと楽しくできてよかったです。

3年生ではかぐらです。しっかりできてよかったです。



運動会 (平成24年度)



芋ほり (平成25年度)



1年生の時ひいらぎまつりのじゅんぴでは、6年生のお兄さんお姉さんがわかりやすく教えてくれました。

2年生の時は、友だちときょう力して、一人ん車ができるようにがんばってできました。それにいろんなわぎもできるようになりました。

うれしかったです。



1ぼくのいままでの思い出はヨークベニマルに行ったことです。

理由はこの学校に来てからはじめての見学だからです。バスもこの学校にきてはじめて乗りました。すごく楽しかったです。

そして4人といっしょに見学して買い物をしたのでとっても楽しかったです。



学芸会 (平成26年度)

5年生



ぼくは、これまで5年間この富野小学校で過ごしました。一番心に残っていることは、鶏舞を披露したことです。

1年生の時は、おどれませんでした。今ではおどれるようになりました。

今年で富野小学校は閉校になってしまいますが、富野小学校での思い出をいつまでも忘れずに生きていきたいです。



ぼくは、富野小学校に入学してから、5年がたち閉校することになってしまいました。友達をたくさんつくることができ、みんなとたくさん遊んで楽しい思い出ができました。

今までの思い出を大人になっても忘れないでいきたいです。富小今まで本当にありがとう。

運動会（平成26年度）



6年生



ぼくの6年間の思い出は、神楽です。1年生からやってきて最初は扇子が回せなくて2年生になってやっと回せるようになりました。

6年生になって着物を着ておどれるようになりました。代々受けついできたのになくなるのがさびしいです。



新米試食会（平成26年度）



1年生から6年生までの一番の思い出は神楽です。入学して神楽の伝統があるのを知りました。初めて踊った時は全く分からず適当に踊っていました。でも学年が上がっていくたびにだんだんうまくなり、6年生になってたくさん練習した結果、完ぺきに踊れるようになりました。



富野小学校にいて楽しかったことは、まず修学旅行です。会津若松に行ってきました。忘れられない思い出になりました。

次は、花山合宿です。みんなと協力して3日間過ごすことができました。がんばったことは、今年いろんな所で神楽をおどったことです。たくさんの思い出ができて良かったです。



私の6年間の思い出は神楽です。1、2年の頃は全く踊ることができませんでしたが、これまで学校の皆に教えてもらいここまでやってこれました。6年間の生活で色々な仲間もできました。支え合ってやってこれることができました。

沢山の思い出が詰まった大切な大切な富野小学校ありがとう。



花山合宿（平成26年度）

6年生

ぼくは、この富野小学校で6年間楽しく学ぶことができ、とてもよかったです。
 まず伝統の神楽「鶏舞」です。初めて踊れた時はとてもうれしかったです。
 次は協力です。人数が少なくても楽しく過ごせた事です。
 この6年間富野小学校で過ごした日々は、とてもよかったです。

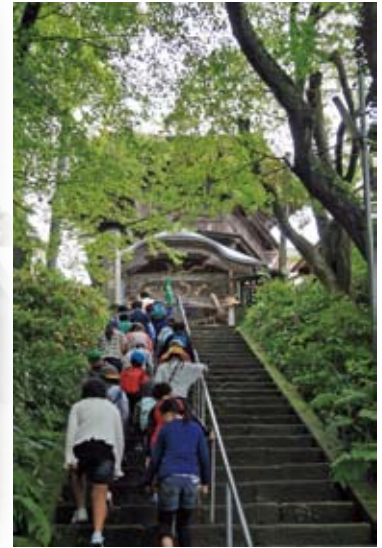
6年間富野小学校で過ごしてよかったことは、
 鶏舞をおどれたことです。4年生までできなかったけど、
 先ばいに教えてもらって全部覚えることができうれしかったです。

今年で富野小学校は閉校するけど、この6年間は永遠に残るいい思い出です。



万葉まつり（平成26年度）

思い出に残っていることは、初めて先輩と行った修学旅行です。歴史の名所に行った時は胸が躍りました。
 富小の閉校というのはとても悲しいしさびしいです。でもみんなと最後までこの富野小でいろいろな活動をし卒業できることは私にとってとても幸せでした。



修学旅行（平成25年度）

私がこの6年間で一番思い出に残った事は、修学旅行です。私は5年生の時に修学旅行で会津若松に行きました。
 そこでは、鶴ヶ城の中に入ったり、ガラス細工をやったりしました。仲良しの友達と同じ班になって、とっても楽しく思い出に残った修学旅行になりました！

私は6年間で一番の思い出は、修学旅行です。会津若松に行きました。鶴ヶ城や野口英世記念館を見ました。
 自主研修のガラス細工、みんなで食べたあげまんじゅうの味、忘れられない思い出です。
 1泊2日でしたが旅館もきれいで小学校生活の一番の思い出となりました。

ぼくの6年間の思い出は、たくさんあります。鶏舞を踊ったことや、5年生の時に、会津若松に行って鶴ヶ城を見てきたこと…。
 野口英世記念館では実際に使った物を見て来ました。
 そして今年の学芸会は「ペロ出しチョンマ」を行いました。
 富野小学校での思い出は消えないでしょう。



修学旅行（平成25年度）



入学記念(昭和2年度)



児童築堤作業(昭和9年度)



旧校舎



校舎上棟式



野球チーム



運動会

緑化活動(昭和36年度)



学校緑化コンクール努力賞(昭和37年度)





運動会 (昭和40年代)



親子遠足 (昭和40年代)



鼓笛隊パレード (昭和41年度)



プール落成記念祝賀式 (昭和43年度)



宿泊合宿 (昭和44年度)



運動会 (昭和44年度)



旧校舎 (昭和44年度)



剣道部発会式 (昭和44年5月)



授業の様子 (昭和44年度)



学芸会 (昭和44年度)



修学旅行 (昭和51年度)



NHK見学 (昭和51年度)



奉仕活動 (昭和51年度)



宮城県沖地震 (昭和53年度)



遠足 (昭和53年度)



ふるさと遊び大会 (昭和54年度)





夏休み研究発表会（昭和58年度）



児童集会（昭和58年度）



授業の風景（昭和58年度）



防災訓練（昭和58年度）



卒業作品（昭和61年度）



はげまし学園との交流（昭和62年度）



運動会（平成4年度）



ひいらぎ祭（平成5年度）





看板作り（平成5年度）



つきだて祭り（平成6年度）



交通安全教室（平成6年度）



上手なおやつのとり方を考えよう（平成6年度）



インターハイ開会式（平成7年度）



根岸学習会（平成7年度）



志津川海洋青年の家宿泊合宿（平成8年度）



120周年記念（平成9年度）





国際ゆめ交流博覧会 (平成9年度)



いちよりの里訪問 (平成10年度)



ぶどう狩り (平成11年度)



ふるさと遊び交流会 (平成12年度)



6年生を送る会 (平成13年度)



薬師まつり (平成14年度)



プール清掃 (平成15年度)



ホッケー大会 (平成16年度)



健康福祉まつり (平成17年度)





遠足 (平成19年度)



芋ほり (平成20年度)



ひいらぎ祭 (平成21年度)



そば打ち (平成22年度)



6年生を送る会 (平成23年度)



花山合宿 (平成24年度)



花壇整備 祖父母合同 (平成25年度)



万葉まつり (平成26年度)



あとがき

栗原市立富野小学校 教頭 川田 聡

富野に住むたくさんのお子どもたちが、ここに集い・ここで学び・ここを巣立っていきました。その繰り返しの中で、138年の長きにわたってバトンが受け継がれ、富野小学校の歴史と伝統が築き上げられてきました。

その富野小学校も平成27年3月で幕を閉じることとなりました。そこで、長い歴史の足跡とたくさんのお思い出を残そうと、PTA総務部の方々の協力を得ながら閉校記念誌の作成に取り組んでまいりました。皆様から寄せられました原稿のいたるところから、富野小学校への熱い思いが伝わってまいりました。富野小学校が、地域と共に歩んできた大きな存在であったことを改めて感じさせられました。そのような宝稿並びに貴重な写真・資料などを提供していただきましたことに、心よりお礼と感謝を申し上げます。

これまでつないできたバトンが途切れることなく、新たな富野のお子どもたちに受け継がれていきますよう、そして、この学校再編が子どもたちの更なる飛躍につながりますよう、地域の皆様には、今後も温かいご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、閉校の年に勤務した職員からのメッセージを掲載いたしますので、お読みいただければ幸いです。

平成26年度 富野小学校職員からのメッセージ！

- * 富野小で過ごした1年、みんなに交じって舞った神楽 最高!!
- * ♪音楽祭♪の素晴らしいステージをいつまでも忘れません。
- * いつも温かく見守ってくれた地域の皆様に感謝
- * 来年も校歌を歌いながら 栗駒山に登ります。
- * 楽しい思い出ばかりでした。ありがとうございました。
- * 白鳥の校舎、学び遊ぶ子どもたち、思い出をありがとう。
- * 史跡のさと、富野小は人々の心に残ります。
- * 鶏舞の鮮やかな衣装が印象的でした。
- * 大きく羽ばたけ！富小児童 2年間 ありがとう。
- * 伝統ある神楽と共に強い心の絆で頑張ってください。

沼倉 美恵子
高橋 ゆうこ
石川 沢
工藤 雄一郎
千葉 隆一
狩野 順子
佐藤 幸記
佐藤 郁
菅原 けい子
菅原 典之



栗原市立富野小学校閉校記念誌

発刊 平成27年3月
発行 栗原市教育委員会
企画・編集 栗原市立富野小学校閉校記念事業実行委員会

